

電子データによる構造計算適合性判定の事前審査のご案内

一般財団法人群馬県建築構造技術センターでは、構造計算適合性判定の申請を予定している案件について、次のとおり電子データによる事前審査の受付を開始しました。

なお、この事前審査の不明な点については、電話や電子メール等で下記に問い合わせください。

一般財団法人群馬県建築構造技術センター 構造判定課
TEL : 027-384-2677
E-mail : kouzou@gunma-sec.net

1. 事前審査の申込み

申請者の皆様は、メールで次の書類を当センターに送信してください。当センターから申込みをお受けした旨を返信します。

- ・構造計算適合性判定申し込み連絡表
- ・構造計算適合性判定申請書（第1面～第3面）
- ・委任状
- ・計画概要書（第1面～第3面、建築確認申請に添付したもの）
- ・安全証明書（必要な場合）
- ・既存不適格調書（必要な場合）

※申請書、委任状等は押印していない原稿の状態を送信してください。

※様式は当センターのホームページ（各種様式ダウンロード）をご利用ください。
(<http://www.gunma-sec.net>)

2. 電子データの送信

申込み連絡表その他の送信に続いて、判定申請図書の電子データを貴社で利用しているファイル転送ツールで送信してください。当センターがダウンロードしたら速やかに審査を開始します。

なお、貴社で利用できるファイル転送ツールがない場合は、当センターの「どこでもキャビネット（(株)大塚商会）」をご利用ください。こちらからアップロード用URLとパスワードを送信します。

- ・意匠図（意匠図の構成は次のとおりです。）
附近見取り図、配置図、各階平面図、立面図、断面図、床面積求積図
地盤面算定表、仕上げ表（内・外部）
- ・構造図
- ・表紙＋目次＋構造計算書1
- ・構造計算書2

- ・地盤調査報告書（構造計算書に含まれている場合は不要です。）
 - ※ 申請図書の設計者印等の押印は不要です。
 - ※ 電子データは Pdf 又は DocuWorks データで作成してください。
 - ※ 電子データの各ファイルは、しおり、付箋又はバインダー等により各項目の最初のページに容易に移動できるようにしてください。
 - ※ アップロードする図書はひと纏めにして Zip ファイルに圧縮してください。
 - ※ データの送信の後は通常の事前審査のフローと同様です。

3. 構造計算書の構成

構造計算書の構成は次の事項を参考にして作成してください。

- ①表紙：物件名、一級建築士・構造設計一級建築士の表示
- ②目次：ページを記載してください。
- ③構造計算書 1 （2次部材などの一貫計算出力でできない部分です。）
 - ・一般事項
 - ・設計用仮定荷重
 - ・一貫計算入力用準備計算
 - ・2次部材の設計
 - ・基礎の設計
 - ・一貫計算の追加検討
 - ・構造計算プログラムチェックリスト（一貫計算の場合）
- ④構造計算書 2（下記の一貫計算出力の例によります。）

一貫計算出力の例

| (BUILD 一貫 V) | (SEIN、SS3) | (BUS-6) |
|---|--|---|
| ・目次 § 1 一般事項 § 2 設計方針と使用材料 § 3 プログラムの使用状況 § 4 荷重・外力 § 5 準備計算 § 6 応力解析 § 7 断面検定 § 8 壁量・柱量 § 9 層間変形角・剛性率 § 10 偏心率 § 11 保有水平耐力 § 12 その他の部材 § 13 総合所見 § 14 エコーデータ 利用者証明書 | ・目次 1. 一般事項 2. 設計方針と使用材料 3. プログラムの使用状況 4. 荷重・外力 5. 準備計算 6. 応力解析 7. 断面検定 8. 壁量・柱量 9. 層間変形角・剛性率 10. 偏心率 11. 保有水平耐力 12. 基礎・地盤 13. その他の部材 14. 総合所見 15. エコーデータ | ・目次 計算・設計に関する情報 § 1. 入力データ I-1 一般事項 I-2 使用材料、材料の許容応力度 I-3 荷重・外力 I-4 モデル化 I-5 部材断面特性 I-6 共通計算条件 I-7 許容応力度計算 I-8 保有水平耐力計算 § 2. 許容応力度等計算結果 A-1 準備計算結果 A-2 応力計算結果 A-3 応力計算結果のまとめ A-4 断面計算結果 § 3. 保有水平耐力計算結果 U-1 長期荷重時応力・層せん断力 U-2 保有水平耐力計算準備計算結果 U-3 D s 算定時計算結果 U-4 保有水平耐力計算結果 U-5 必要保有水平耐力と判定 メッセージ一覧 |